

令和6年第12回教育委員会定例会日程

〔日時〕 令和6年12月25日（水）午前9時30分開会

〔場所〕 市役所7階703会議室

第1 教育長報告

- ① 令和6年第4回市議会定例会について
- ② 「東久留米市第3次特別支援教育推進計画（素案）」に係るパブリックコメントについて
- ③ 「第四次東久留米市子ども読書活動推進計画（素案）」に係るパブリックコメントについて
- ④ 学校給食費の無償化について
- ⑤ くるめ産給食の日について
- ⑥ 「スポーツ健康ウィーク東久留米2024」の報告について

令和6年第4回定例会会期日程表（案）

会期 12月2日～12月23日（22日間）

月・日	曜日	時 間	会議名
12月 2日	月	午前9時30分	本会議（第1日）上程・即決・付託・報告 議会運営委員会 午前9時～
3日	火		休会
4日	水	午前9時30分	本会議（第2日）一般質問
5日	木	午前9時30分	本会議（第3日）一般質問
6日	金	午前9時30分	本会議（第4日）一般質問
7日	土		休会（休日）
8日	日		休会（休日）
9日	月	午前9時30分	本会議（第5日）一般質問
10日	火		休会
11日	水	午前9時30分	総務文教委員会
12日	木	午前9時30分	厚生委員会
13日	金	午前9時30分	環境建設委員会
14日	土		休会（休日）
15日	日		休会（休日）
16日	月	午前9時30分	予算特別委員会（補正予算）
17日	火		休会
18日	水		休会
19日	木		休会
20日	金		休会
21日	土		休会（休日）
22日	日		休会（休日）
23日	月	午前9時30分	本会議（第6日） 議会運営委員会 午前9時～

令和6年第4回市議会定例会提出議案

議案 番号	件 名	付 託 委員会
66	専決処分（令和6年度東久留米市一般会計補正予算（第8号）） の承認について	
67	専決処分（令和6年度東久留米市一般会計補正予算（第9号）） の承認について	
68	令和6年度東久留米市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	
69	令和6年度東久留米市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	
70	令和6年度東久留米市介護保険特別会計補正予算（第3号）	
71	東久留米市情報公開条例の一部を改正する条例	
72	東久留米市個人情報の保護に関する法律施行条例の一部を改正する条例	
73	東久留米市個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例	
74	東久留米市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	
75	東久留米市立生涯学習センター指定管理者の指定について	
76	東久留米市道路占用料等徴収条例及び東久留米市公共物管理条例の一部を改正する条例	
77	東久留米市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	
78	令和6年度東久留米市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	

79	令和6年度東久留米市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	
80	令和6年度東久留米市介護保険特別会計補正予算（第4号）	

令和6年第4回市議会定例会提出追加送付議案

議案 番号	件 名	付 託 委員会
8 1	令和6年度東久留米市一般会計補正予算（第10号）	
8 2	令和6年度東久留米市一般会計補正予算（第11号）	
8 3	東久留米市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例	
8 4	東久留米市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	
8 5	令和6年度東久留米市一般会計補正予算（第12号）	
8 6	令和6年度東久留米市介護保険特別会計補正予算（第5号）	

令和6年第4回定例会一般質問届出順序及び内容

受理 番号	議員名・会派名 所属委員会	質問題名・質問要旨	答弁希望者	担当部課
1	三浦 猛 公明党 環境建設委員会	1 市行政について (1) 脱炭素社会を目指す取組について ア 東久留米市GX推進方針(素案) イ 環境省「自然共生サイト」 (2) 産業振興について ア 道の駅 イ タレント肖像シェアリングサービス (3) 学童保育所について 2 教育行政について (1) 小中一貫教育について	市長 副市長 教育長 担当部長	
2	関根 光浩 公明党 環境建設委員会	1 市行政について (1) 令和7年度予算編成について (2) LINE公式アカウント導入後の状況について (3) わくわく健康プラン東くるめ(第3次)(素案)について (4) 認知症対策について (5) 家族介護者支援について	市長 副市長 担当部長	
3	阿部 利恵子 公明党 厚生委員会	1 市行政について (1) 切れ目のない子育て支援の充実に向けて (2) 介護福祉について ア 地域包括支援センター イ ショッピングリハビリ (3) 地域公共交通の充実について (4) 公共施設マネジメントの進捗について	市長 副市長 担当部長	
4	高橋 和義 公明党 総務文教委員会	1 教育行政について (1) 学校の読書推進の取組について (2) 不登校の現状とチャレンジクラスについて 2 市行政について (1) パークマネジメントについて (2) 環境美化の取組について (3) ナラ枯れについて (4) 暗渠の安全管理について (5) 安心して外出できるまちづくりについて	市長 副市長 教育長 担当部長	
5	岩崎 さやこ 国民民主党 厚生委員会	1 市行政及び教育行政について (1) 小一の壁(朝の登校に関する)について (2) こどもたちに対する性被害防止策について (3) 小中学校の校庭の安全管理について (4) こども施策にこどもの意見を反映させる取組(中学校給食、竹林公園)について (5) 小中学校給食費無償化に伴う不登校児分の対応について	市長 副市長 教育長 担当部長	

6	宮川 豊史 久留米ハート ネット 環境建設委員会	1 東久留米市の本気の改革はまだ始まってすらいない。うつむく な、竜馬。そのままただ前だけを向いて走り続ける！ (1) 令和7年度予算編成 (2) 財政健全経営計画 (3) 人にやさしいデジタル化 (4) 公共施設マネジメント (5) こどもたちにボール遊びが出来る公園を (6) 視覚障害者の同行援護 (7) 東久留米駅西口	市長 副市長 担当部長	
7	梶井 琢太 市議会立憲民主 総務文教委員会	1 公共施設マネジメントについて 2 ファミリー・アテンダント事業について 3 学校給食について 4 不登校施策について	市長 副市長 教育長 担当部長	
8	細谷 祥子 都民ファースト の会 環境建設委員会	1 市行政について (1) 公園、遊歩道等の環境改善について (2) シニア、女性等、意欲ある人材の活用について (3) 安定した市内介護事業を支援することについて (4) 都市農業の振興について 2 教育行政について (1) こどもたちをオーバードーズから守ることについて	市長 副市長 教育長 担当部長	
9	かやま 玲子 市民自治フォー ラム 総務文教委員会	1 市行政について (1) マイナ保険証とマイナンバーについて (2) 新型コロナワクチン接種証明の延長について (3) 注視区域について (4) 市民の市政参加（プラーヌクスツェレ）について	市長 副市長 担当部長	
10	間宮 美季 市民自治フォー ラム 厚生委員会	1 教育行政について (1) 図書館行政について ア 今後の東久留米市立図書館の運営方針の検証について イ モニタリングについて 2 市行政について (1) 地域包括支援センターとランチについて (2) 市史編さんについての検討状況について (3) 市職員の労働環境の改善を求める	市長 副市長 教育長 担当部長	
11	引間 太一 ニューウェーブ 環境建設委員会	1 市行政について (1) メタバース市役所実現の可能性について (2) 市公式LINEアカウントの現状について (3) 市民みんなのまつりの開催状況について (4) 市公式SNSについて (5) 聴覚障害者支援について 2 教育行政について (1) 小中学生のSNS教育について	市長 副市長 教育長 担当部長	

1 2	佐藤 一郎 東久留米維新の 会 総務文教委員会	1 市行政について (1) 令和7年度予算編成について (2) 公共施設マネジメントについて ア 旧下里小学校 イ 管理課分室 ウ 学校施設 エ 旧しんかわ保育園 (3) 東久留米駅西口について 2 教育行政について (1) 学校給食費の無償化について (2) マイナンバーカードを図書館カードとして活用はできな いか	市長 副市長 教育長 担当部長	
1 3	鴨志田 芳美 日本共産党 厚生委員会	1 市行政について (1) 虐待を受けたこどもたちへのケアと虐待サバイバーへの理 解とケア (2) デフリンピックと聾者の声 (3) 情報保障について (4) 市民の声を聞く取組 2 教育行政について (1) 子どもの権利と意見表明権	市長 副市長 教育長 担当部長	
1 4	北村 龍太 日本共産党 総務文教委員会	1 市行政について (1) 公共施設マネジメントについて (2) ごみ行政について (3) 東久留米市GX推進方針について (4) 私道整備助成について 2 教育行政について (1) 市立小学校の校庭開放における負傷事故について	市長 副市長 教育長 担当部長	
1 5	永田 雅子 日本共産党 環境建設委員会	1 市行政について (1) 平和事業について (2) 耐震改修促進計画について (3) 避難所について (4) 学童保育所について 2 教育行政について (1) 学校給食について (2) 就学援助について	市長 副市長 教育長 担当部長	
1 6	村山 順次郎 日本共産党 厚生委員会	1 市行政について (1) 歳入歳出決算附属書類の誤りについて (2) 介護保険事業計画について (3) 生活困窮者自立支援事業について (4) 東久留米駅西口昇降施設の改築について (5) 交通安全について 2 教育行政について (1) 特別支援教育推進計画について	市長 副市長 教育長 担当部長	

17	篠宮 よしのり 自民クラブ 厚生委員会	1 市行政について (1) 第3期東久留米市子ども・子育て支援事業計画(素案)について (2) 緑地保全について (3) 産業振興について 2 教育行政について (1) 学校における食育について (2) こどもたちの見守りにについて	市長 副市長 教育長 担当部長	
18	沢西 卓哉 自民クラブ 総務文教委員会	1 市行政について (1) 東久留米市GX推進方針(素案)について (2) 中小・小規模事業者向け資金融資制度について (3) わくわく健康プラン東くるめ(第3次)(素案)について (4) 自転車の交通ルールについて (5) 東久留米市財政健全経営計画(改定版)実行プランにおける支払事務の見直しについて	市長 副市長 担当部長	
19	野島 武夫 自民クラブ 厚生委員会	1 市行政について (1) 持続可能な行財政運営について (2) 令和7年度予算編成について (3) 災害に強いまちづくりについて ア 避難所運営マニュアル イ 街頭設置の消火器	市長 副市長 担当部長	
20	島崎 孝 自民クラブ 総務文教委員会	1 市行政について (1) 公共施設マネジメントについて (2) 自治体DXについて(財政健全経営計画(改定版)実行プラン DX推進項目から) ア LINEを活用したオンライン市役所の運用 イ マイナンバーカードの活用 (3) デジタルサイネージについて (4) 経常収支比率について (5) こども家庭センターについて (6) 介護保険について	市長 副市長 担当部長	
21	当麻 一哉 自民クラブ 環境建設委員会	1 市行政について (1) 東京都事業UPGRADE with TOKYOについて (2) 民間提案型官民連携モデリング事業について (3) 防災対策について (4) ボール遊びのできる公園について (5) 市民と市長の座談会について	市長 副市長 担当部長	

※但し、この後答弁者が変更になる場合があります
(教育委員会付記)

令和6年第4回市議会定例会一般質問答弁概要（教育委員会関係）

※通告による質問に対する答弁のみ（再質問除く）。

	質問議員名（会派名） ※敬称略 （上段）質問要旨 ※一部まとめています。
	（下段）答弁要旨
1	<p>三浦 猛（公明党）</p> <p>（1）昨今、小学校と中学校が学習指導や生活指導における連携を図り、9年間を見通した指導方針のもとで子供たちを育てる小中一貫教育に取り組む自治体が増えている。過去に、本市における小中一貫校の設置についての教育委員会の考えを質問した際、「他の自治体の動向を注視していく」という答弁であった。その後、他の自治体でも取組を進めているが、改めて本市の考えを伺う。</p> <p>（答弁）文部科学省が示す小中一貫教育の具体には、基本形として、一人の校長の下で一つの教職員集団が一貫した教育課程を編成・実施する9年制の学校で教育を行う形態（義務教育学校）と、組織上独立した小学校及び中学校が義務教育学校に準じる形で一貫した教育を施す形態（小中一貫型小・中学校）の2つがあります。本市においては、校舎の立地状況や学区等の状況から、そのどちらも現在のところは難しいと考えます。</p> <p>しかしながら、小学校から中学校への進学において、新しい環境での学習や生活へ移行する段階で、不登校等の生徒指導上の諸問題につながっていく事態、いわゆる中1ギャップを防ぎ、小学校から中学校への接続を円滑化するために小中連携の取組は、従来から継続して行っています。</p>
2	<p>高橋 和義（公明党）</p> <p>（1）読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性、表現力、創造力を磨き、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである。現在、本市においても「第4次東久留米市子ども読書活動推進計画」を策定していると聞いているが、小・中学校の読書指導の現状と貸し出し状況について伺う。</p> <p>（答弁）小学校では、週1時間程度の「図書」の時間を設定しています。また、年間2回程度の読書旬間を設けて、休み時間や放課後にも本に親しむ機会を設定しています。中学校では、朝学習の時間を活用して、読書をする時間を設定しています。</p> <p>小学校では、週に2、3日程度、図書館司書が訪問して読書活動を支援しています。令和5年度の小学校の貸し出し冊数は一人当たり平均21.35冊、中学校の貸出冊数は一人当たり平均2.17冊でした。また、令和5年度学力・学習状況調査では、「1日に全く読書をしない」と答えた児童は全体の24.8%、生徒は全体の36.9%にあたり、全国平均や東京都平均を上回っています。</p> <p>（2）これまで不登校の対策については、様々な取組がなされていると認識している。中でも、学習適応教室は、わくわく健康プラザにも開設されるようになって2年目となるが、その現状と新たな取組について伺う。</p> <p>（答弁）令和6年度は、わくわく健康プラザの適応教室を週2日から週3日に増やし、小学生の受入れも柔軟に対応しています。利用者数は、11月現在で37名おり、昨年度より1.2倍程度の増加です。わくわく健康プラザの小学生は、自主学習の外、ゲーム的な活動を入れながら学習したり、コミュニケーション力を高めたりしています。また、今年度は、中庭の一部でサツマイモの栽培を行い、10キロ以上の収穫をすることができました。また、体育館で軽い運動を行ったり、校外学習も行っています。</p> <p>教育センターでは、日常の活動以外に、7月に「高校の先生の話聞く会」を開催し、都立高</p>

	校、通信制高校、定時制高校などの説明を親子で聞き、進路を考える機会も設定しました。
3	<p>岩崎 さやこ（国民民主党）</p> <p>（１）小学校の開門時刻を早め、登校時間まで児童を見守る動きが広がっている。進学を機に子どもの預け先がなくなる「小１の壁」対策の一環であり、学童保育と連携する例もある。現在の本市の小学校の朝の登校の実態について伺う。</p> <p>（答弁）朝の正門の開錠は、概ね午前８時頃に行われており、その後、校舎入り口の昇降口を開けて、児童は校舎内に入ります。</p> <p>各小学校では、正門が開いてから昇降口が開くまでの間、５分から１０分程度の間がありますが、その間、児童は、昇降口前やピロティなど、学校で指定された場所で昇降口が開くまで待つことになります。各小学校には、「生活のきまり」で昇降口が開くまでの間の注意事項について指導しており、学校によっては、先生方が当番制で見守りをして、児童の安全管理に努めています。</p> <p>また、各家庭にも正門や昇降口が開く時間を周知し、児童の安全のために登校時刻を調整していただくようお願いしています。</p> <p>（２）本年６月、市内の児童が、少年野球の練習中に校庭のくぎでケガをした旨の説明を受けた。これにかかる損害賠償を市が負ったと聞いている。一般的に、学校でのケガは、その原因に応じて誰が責任を負うかが異なり、国や地方公共団体、学校・教職員、あるいは加害者である生徒などがあると聞く。本市におけるこのケースでは、賠償金を支払うに当たり、ケガの原因をどのように捉え、責任の所在を誰に求めたのかを確認したい。</p> <p>（答弁）本年６月、市立小学校の校庭開放により、野球の練習を行っていた少年野球チームの児童１名がスライディングした際に、学校が臨時的に校庭に設置した釘で左ひざ部を挫創する、という負傷事故が起きてしまいました。</p> <p>これに対し、１１月に、市が被害者に対して、市が加入する全国市長会学校災害賠償保障保険から損害賠償金９８,４２３円を支払うことで和解が成立しております。</p> <p>この負傷事故発生の経緯について、教育員委員会が当該学校に聞き取ったところ、ソフトボール投げによる体力測定に際し、数本の釘を校庭に打設し、週末をはさんでこの測定を行う事となったものの、これに携わった教員は、「臨時的にペグ等を設置する場合には、設置数を極力最小限とし、設置期間中の安全管理を徹底するとともに、その使用目的を終えた場合は速やかに撤去する」と取り決めたルールを、学校活動の範ちゅうでのみ捉え、週末の校庭開放時等におけるリスクまで意識が及ばなかった、とするものでございました。</p> <p>本事案の責任の所在といたしますと、表面的には一見すると、体力測定に携わった教員が、そもそも危険物と位置付けたくぎを用いた事に加え、危機危険を回避させる想像力を働かすことができなかった、ということになりますが、管理職である学校長及び副校長がそれを促す指導を欠いていたという点において、組織的な安全管理体制が構築されていなかった事と捉えております。</p> <p>（３）こども基本法では、基本理念として、年齢や発達の程度に応じたこどもの意見の尊重が掲げられるとともに、こども施策の策定等に当たって、こどもの意見を反映させるために必要な措置を講ずることとされている。</p> <p>この点に関連して、中学校給食について生徒たちの意見聴取の現状を伺う。</p> <p>（答弁）教育委員会では、これまでもお伝えしてきておりますように、日常的に、担当栄養士が給食指導で各校を訪問した際に、努めて生徒たちから様々な生の声を聞き取る取り組みを行っております。</p> <p>また、先般各校で実施した、あたたかい献立の実地テストの際には、生徒を対象にロゴフォームを用いたアンケートを行い、スクールランチについての意見を伺っております。なお、当該アンケートの集計結果については、先般、議員の皆さま方にも情報提供させていただいております。</p>

	<p>(4) 今般、東京都の補助制度が拡充されたことを受け、本市においても3学期から学校給食費の無償化が実施されることとなった。これにより学校に通う子どもたちは、給食費を払うことなく給食を食べられるようになる一方、不登校の児童・生徒についてはどのようなになるか、伺う。</p> <p>(答弁) この度の学校給食費無償化は、東京都の補助事業を活用して行いますので、制度設計も都の補助制度に沿ったものになります。都がやむを得ないとする理由により弁当を持参する場合には補助対象になりますが、不登校の場合にはこれに当たりません。従って、不登校の児童・生徒が保健室や別室に登校する際には無償で給食を喫食できますが、学校に登校しない日に何らかの補助を受けられるという制度にはなっておりません。</p>
4	<p>梶井 琢太 (市議会立憲民主)</p> <p>(1) 中学校給食については、現行のスクールランチを基本とした中で、あたたかい献立の提供を目指して、個別容器を用いた提供方法で、実現に向けた取り組みを進められていることと思う。この10月から11月にかけて、各学校での実地テストを行われたとのことだが、あらためて現在の進捗状況を伺いたい。</p> <p>(答弁) 令和7年9月からの実施に向けまして、この10月から11月にかけて、各中学校において個別容器を用いた提供の実地テストをいたしました。当日は、調理場内での各種作業の確認をしたほか、生徒たちにも試食してもらって、配膳室からの運搬や教室での配膳、後片付けについても確認し、また、スクールランチに関するアンケートを行い意見聴取をいたしました。</p> <p>学校での個別容器の提供は初めてでしたが、各校とも思った以上にスムーズに配膳することが出来ました。個別容器がひとつ増えましたが、ランチボックスがやや小ぶりになり、蓋の形状が重ね合わせやすい物になりましたので、アンケートでは、取りやすく、重ねた時に運びやすかったとの声が聞かれました。</p> <p>当日の個別容器では、「野菜たっぷり みそけんちん汁」を全校共通で提供しました。どの学校でもあたたかい状態で提供することができ、アンケートでは、スープが付いたことでスクールランチがいつも以上に美味しく感じました、などの声が聞かれています。</p> <p>全体では、各工程での作業手順や導線、人の流れについて、様々確認できましたので、各校及び受託事業者とも意見交換しながら、本番に向けて準備してまいりたいと思います。</p> <p>(2) 10月末に文部科学省が公表した「問題行動・不登校調査」で、全国の小中学校で令和5年度に学校を30日以上欠席した不登校の児童生徒は前年度から4万7434人(15.7%)増の34万6482人となり、過去最多を記録した。不登校の増加は11年連続で、10年前と比較すると小学生は5.4倍、中学生は2.3倍増ということだが、本市の不登校の発生率と学校への復帰率について伺う。</p> <p>(答弁) まず、令和5年度の本市の不登校児童数は160人で発生率2.8%、前年度より53人、0.8%の増加です。不登校生徒数は214人で発生率8.2%、前年度より30人、1.2%の増加です。</p> <p>一方、学校復帰率は、小学校で41.3%で、昨年度の26.2%より上昇しており、中学校では24.3%で昨年度より1.5%の上昇でした。</p> <p>不登校の調査において、これまでは腹痛や頭痛などの体調不良での欠席は「病気による欠席」として扱ってききましたが、不登校や登校渋りは、腹痛や頭痛などから始まっていることが多いことが分かってきました。そのことから、腹痛や頭痛での欠席であっても、30日以上となった場合は、「不登校の兆候」として調査にも計上することとし、それにより学校での対応を早期に行うように促してまいりました。その結果、発生率は高くなったものの、復帰率も高くなっています。</p>
5	<p>細谷 祥子 (都民ファーストの会)</p> <p>(1) 東京都の調査によると、薬局やドラッグストアで購入できる風邪薬や咳止めなどを大量・</p>

	<p>頻りに服用するオーバードーズが、10代・20代の若い世代を中心に増加している。本市でのオーバードーズについての指導は、どのように行われているか伺う。</p> <p>(答弁) 本市でのオーバードーズについての指導について、お答えします。</p> <p>小学校では、体育の保健領域において、薬物乱用防止教育を行うこととなっており、主に6年生で薬物乱用防止教室を行っています。中学校では、保健・体育において授業で扱う外、いずれかの学年で年1回薬物乱用防止教室を行うこととなっており、第3学年で実施している学校が多く見られます。</p> <p>講師として、警察、学校薬剤師、東京都の薬物乱用防止指導員等の方を招聘しています。</p> <p>中学校の保健では、第2学年では「薬物乱用による健康被害」について、また、第3学年では「医療機関の利用と医薬品の使用」について取り扱うこととなっています。</p> <p>これらの指導においては、覚せい剤や危険ドラッグについてだけではなく、市販薬や処方薬の仕組みや、薬の正しい処方についても取り扱っており、オーバードーズの危険性や依存性についても学習しています。</p>
6	<p>間宮 美季 (市民自治フォーラム)</p> <p>(1) 「今後の東久留米市立図書館の運営方針」において、目指すべき図書館像を提示し、図書館4館への指定管理者の導入など進めてきたと思うが、その図書館の将来像の検証や達成度・課題など把握をしているのか。</p> <p>(答弁) 「今後の東久留米市立図書館の運営方針」では、今後目指すべき図書館像として6つの図書館像とその具体的なイメージをお示しております。</p> <p>担当におきましては、この図書館像を念頭に置きながら、図書館事業を進める上で、その具体の取り組みを「教育振興基本計画」に反映させ、その上で、毎年度の事業計画を策定し取り組んでおります。</p> <p>その成果については、「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」を取りまとめるに当たり、計画した事業を、担当者として振り返り、これを教育委員並びに有識者から毎年度評価をいただいております。また、毎年利用者満足度調査、加えて、図書館協議会による選書・除籍の実績評価や事業評価を受けておまして、これらを通じて担当として課題整理をしながら、目指すべき図書館像を念頭においた図書館事業を進めております。</p> <p>(2) 図書館指定管理者に対して、担当においてモニタリングを行い、モニタリングシートを市ホームページで公開している。</p> <p>「指定管理者制度の活用方針」においては、モニタリングシートを作成し、外部アドバイザーに確認を受けるとあるが、図書館において外部アドバイザーに確認してモニタリングシートを作成したのか。</p> <p>(答弁) 担当においては、指定管理者から提出される様々な書類や施設巡回などを通して指定管理者が行う管理業務が適切かつ着実に履行されているか、適宜モニタリングを実施しております。また、この適宜行うモニタリングを通じ、疑義や問題等が生じた場合は、専門知識を有する外部アドバイザーの助言を受けることもできる仕組みとなっております。</p> <p>一方、ホームページでも公開しているモニタリングシートは、担当において作成した後に、事業報告書等と共に行政経営課に提出します。行政経営課では、これら施設を所管する担当から提出されたものを外部アドバイザーに示し、ご意見やご指摘を受けていると伺っております。なお、これを経たアドバイザーの所見などについては、行政経営課を通じて担当にもフィードバックされることになっております。</p>
7	<p>引間 太一 (ニューウェーブ)</p> <p>(1) 昨今、SNSでの誹謗中傷が問題とされている。また、子どものスマホ所持率が上がり、SNSがごく身近なツールとなったことで、子どもがネットトラブルに巻き込まれる可能性も高まっていると考える。学校で行う各調査等から把握している本市の子どもたちの携帯電話やスマー</p>

	<p>トフォンの利用状況について伺う。</p> <p>(答弁) 子どもたちの携帯電話やスマートフォンの所持率を示す調査はございませんが、「全国学力・学習状況調査」の児童・生徒質問紙の結果によると、「普段(月曜から金曜)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴をしますか」という質問に対して、小学校6年生では「1時間以上」と答えている児童が約50%おり、そのうち「4時間以上」と答えた児童は約14%でした。中学3年生では、「1時間以上」と答えている生徒が約70%おり、そのうち「4時間以上」と答えた生徒は約19%でした。</p> <p>一方、「まったくやらない」と回答した児童は約18%、生徒は約3%でした。</p>
8	<p>佐藤 一郎(東久留米維新の会)</p> <p>(1) 今般、東京都の補助制度が拡充されたことを受け、本市においても3学期から学校給食費の無償化が実施されることとなった。3学期実施分の予算規模と、財源の内訳について、あらためて伺いたい。</p> <p>(答弁) 本年度3学期の学校給食費無償化そのものに要する経費としては、物価高騰対応分等も含めると、小学校費で6,787万4,000円、中学校費で3,350万8,000円、合わせて1億138万2,000円となっております。</p> <p>次に財源内訳ですが、小・中学校費合わせまして、東京都公立学校給食費負担軽減事業補助金が5,043万7,000円、東京都市町村総合交付金が4,255万3,000円、国交付金の財源更正がマイナス566万5,000円、これらを差し引いた一般財源が1,405万7,000円となっております。</p> <p>この他、無償化の実施に伴って、中学校給食の喫食数増加が見込まれることから、これに対応するための必要物品の購入及び調理等業務委託の体制整備等に要する経費が合わせて953万8,000円となっており、これらは一般財源での対応となります。</p> <p>(2) 本市において年末に図書館システムの更新を予定しているが、マイナンバーカードを図書館カードとして利用することに国は支援していると聞いている。対応は可能と考えるか。</p> <p>(答弁) 国においては、マイナンバーカードの市民カード化の構想の中で、他の市民サービスと共に、図書館カードとして利用することに積極的な支援をしております。</p> <p>仕組みといたしましては、利用者のマイナンバーカードを国が提供するマイキープラットホームを活用することで、図書館カードと一本化し、マイナンバーカードをICカードリーダーにかざして貸出手続きを可能とするものです。</p> <p>本市の図書館システムにおける貸出手続きについては、多くの自治体が利用する、図書館カードに記載されたバーコードを読み取ることで、利用者確認を行うものですが、新たな機能の追加については、その為の予算措置も必要となります。</p> <p>担当においては、今年度の予算措置を受けて、図書館システムの更新作業を進め、この年末年始に機器の入れ替えを予定していますが、コロナ禍以降の物価の急騰を受け、必要最小限の更新内容にとどめているのが実情であり、今回のシステム更新による対応はしておりません。</p>
9	<p>鴨志田 芳美(日本共産党)</p> <p>(1) デフリンピック開催まで1年を切った。これまで、またこれからの本市の取組みについて伺う。</p> <p>(答弁) 東京2025デフリンピックの開催に向けた本市の取組みとしましては、東久留米駅西口、市役所本庁舎等の公共施設へのポスター掲示をするなどの周知活動に取り組んでおります。また、東京都では、東京2025デフリンピックにおける、選手・観客・関係者の案内・誘導や各会場での案内サポート等を行うボランティアを募集しております。本市の福祉部門では、関係団体や手話通訳者養成研修等で幅広くボランティアの参加を呼び掛けていると伺っております。</p> <p>(2) 『子どもの権利フォーラム』に参加した。そこでは、校則や学校の決まりの改訂など、子ども主体の学校を求める声が聞かれた。教員と子どもが共に考え、話し合っ、子どもが感じ</p>

	<p>る問題を一つ一つ解決し、改善していくことが「子ども主体の学校」になると考えるが、本市の学校では、そのような場があるのか現状を伺う</p> <p>(答弁) 現行の学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うことが提唱されています。中でも、子供同士の協働や、教職員や地域の人との対話等を通じて、自己の考えを広げ深めることが重要とされています。根拠をもとに自己の意見を話す力や、相手の話を整理して聞く力を身に付け、対話によって「自分にはない考えを他者から獲得」できるような学びを目指しています。つまり、これまでの教師が一方的に話す一斉授業から脱却し、子どもたちが目標に向かって、学び方を自分で選択し、他者と関わり合いながら学びを進める授業が求められています。本市においても、このような授業スタイルが日常的にどの学級でも行われることを目指して、授業改善に取り組んでいるところです。</p> <p>また、昨今では、学校行事等においても、多くの学校が、教師が決めた種目や演目を教師の計画通りに進めるのではなく、児童・生徒の発達段階に応じて、実行委員会をつくり自分たちで計画させたり、教員がファシリテーターとなって、互いの表現を見合って意見交換しながら、一つの作品を創り上げていくように指導しています。</p>
10	<p>北村 龍太 (日本共産党)</p> <p>(1) 過去の一般質問で、校庭の安全対策をすとの答弁があったが、今回の負傷事故を受けて、どのような対策が行われていて、どういった点が不十分だったのか、分析されていれば見解を伺う。</p> <p>(答弁) 市内の小中学校が取り組んでいる、校庭等における日常の安全点検及び校庭に設置するペグの管理につきまして、内容の一例を申し述べますと、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガラス、石、くぎなどの危険物や学校側で把握していないペグについて、日常的に点検し、発見した場合には確実に撤去すること。 ・ ペグ等を設置する場合には、設置数を極力最小限とし、設置期間中は管理簿を活用して管理を徹底するとともに、その使用目的を終えた場合は速やかに撤去すること。 ・ 新たに購入するペグは、安全性に重点を置いた上部が樹脂製の製品を推奨するとし、コースロープは、原則撤去すること。などでございます。 <p>次に、今回の事故の要因については、当該学校において、今ほど申し上げた安全対策への意識が十分に徹底されていなかった事と、教育委員会では捉えております。</p>
11	<p>永田 雅子 (日本共産党)</p> <p>(1) 今般、東京都の補助制度が拡充されたことを受け、本市においても3学期から学校給食費の無償化が実施されることとなった。</p> <p>準要保護世帯の給食費は、これまでは各年度での認定がされるまでの間は、各世帯が一度負担する形であったと思うが、無償化が始まった後はどのようなになるのか、伺う。</p> <p>(答弁) 準要保護世帯の学校給食費は現在、各年度の認定までは各世帯が一旦負担し、認定後に当該の金額を支給する形で運用しております。</p> <p>学校給食費の無償化以降は、保護者から給食費を徴収することが無くなりますので、準要保護世帯においても、一時的に給食費を負担いただくことは無くなります。</p> <p>(2) 就学援助費の費目のうち修学旅行費について、本市は事後の実費払いと承知しているが、修学旅行費は高額になることから、一時の支払でも大きな負担になる世帯もある。他自治体では、旅行事業者の厚意により支払いを猶予してもらっているところもあるようだが、本市で同様の対応ができないか、あらためて伺う。</p> <p>(答弁) 修学旅行費については実費払いとしており、確定した旅行費用は帰ってきた後でないと把握できません。支払いを猶予していただくような措置は、相手方の対応によるところもあり、困難なものであると考えます。</p>
12	<p>村山 順次郎 (日本共産党)</p> <p>(1) 『東久留米市第3次特別支援教育推進計画』を策定中と聞いている。第2次計画からの改</p>

	<p>訂の概要について伺う。</p> <p>(答弁)「東久留米市第3次特別支援教育推進計画」における第2次計画からの改訂の概要について、お答えします。</p> <p>令和4年2月に第2次計画を策定以降、この間、全市立中学校に特別支援教室の設置を完了し、小・中学校を通して一貫した特別支援教育の充実を図るとともに、相談体制を整備し、特別な支援が必要な児童・生徒への指導・支援について組織的に進めていく支援体制を構築してまいりました。</p> <p>そこで、第3次計画では、これらの整備された体制の中での「指導の充実」を主な目的としています。具体的には、個別や小集団での指導の充実に加え、交流及び共同学習の推進や、通常学級での合理的配慮も含めて策定しています。</p> <p>また、第3次計画の策定にあたっては、保護者のアンケートだけでなく、特別支援学級や特別支援教室を利用する子どもたちへのアンケートも行った点が変更点です。</p>
13	<p>篠宮 よしのり(自民クラブ)</p> <p>(1)近年の社会全体の急速なデジタル化や、ライフスタイルの多様化に伴い、『食』を取り巻く環境も大きく変化してきている。このことを受け、先般、本市でも食育推進基本方針を改訂され、その基本理念を「彩り豊かな食事で『こころ』と『からだ』を健やかにはぐくむまち」とし、新たな時代に即した、食育推進に取り組まれていることと承知している。</p> <p>学校での食育については、食育基本法や学校給食法をもとにし、また市の食育推進基本方針に則って、様々な取り組みをされているものと思うが、あらためて、学校での食育の取り組みについて、まずはその概要を伺いたい。</p> <p>(答弁)学校での食育は、学校教育活動全体を通じて取り組むこととされています。各校で食に関する指導の目標や具体的な取組について共通理解をもつことが重要であり、栄養教諭や食育リーダーを中心とした教職員の連携・協働による「食に関する指導の全体計画」を作成しています。</p> <p>この全体計画では、「食事の重要性」「心身の健康」「食品を選択する能力」「感謝の心」「社会性」「食文化」の6つの視点に基づいて、学年段階別に具体的な目標を設定します。指導に当たっては、給食の時間だけでなく、体育科における望ましい生活習慣の育成や、家庭科における食生活に関する指導、特別活動における学級活動はもとより、その他の各教科や総合的な学習の時間での指導も相互に関連させながら、効果的な取り組みになるよう努めています。</p> <p>(2)通学時の子どもたちの見守りについては、様々な形で取り組まれているものと思う。あらためて、その概要について伺いたい。</p> <p>(答弁)通学における児童の安全管理については、学校保健安全法第27条に規定する学校安全計画に基づき、各学校において児童に対し通学時の安全指導を行うとともに、同法第30条の規定により、学校において児童生徒の保護者や警察、ボランティア団体、地域住民の方々との連携に努めることとされています。</p> <p>これらにより、各校では、保護者、地域住民や自治会、青少年健全育成協議会、高齢者団体等と連携し、登下校時の見守りや防犯パトロールなどの活動を定期的に行っています。</p> <p>また、これらを補完するものとして、担当所管においては、車の通行の多い地点等に交通擁護員を配置するほか、防犯対策では、通学路に防犯カメラを設置する事業を実施しています。</p>

令和6年第4回定例会請願付託表

受 理 番 号	件 名
6 請願第 2 3 号	公立保育園の存続を求める請願
6 請願第 2 4 号	こどもをインフルエンザ感染症から守るためにインフルエンザワクチン接種費用の助成を求める請願
6 請願第 2 5 号	東久留米市のすべての児童・生徒の学校給食費の無償化を求める請願
6 請願第 2 6 号	国に対して「選択的夫婦別姓制度をただちに導入することを求める意見書の提出」を求める請願
6 請願第 2 7 号	小学校の給食調理室に関する空調環境の整備を求める請願
6 請願第 2 8 号	東久留米市立中学校において小学校のような全員給食の実現と中学校給食の提供方法について生徒、保護者、市民の意見を聞く場を設けることを求める請願
6 請願第 2 9 号	国に対して、「小中学校の断熱化の早期達成目標を示し、継続的に予算を確保することを求める意見書の提出」を求める請願
6 請願第 3 0 号	国に対して「国の責任で、中学校の全学年での35人学級の早期実現を求める意見書の提出」を求める請願

東久留米市のすべての児童・生徒の学校給食費の無償化を求める請願

紹介議員

北 村 龍 太 ㊦

〈請願趣旨〉

令和 6 年 9 月 11 日「学校給食費の無償化実施を求める請願」が審査された総務文教委員会において、市長から来年 1 月から無償化を実施するとの発言がありました。この無償化の表明にそのことを求めてきた市民、保護者からは喜びの声が上がりました。しかし、中学校では自宅からアレルギー等により弁当を持参している生徒、不登校の児童・生徒などは対象外との市側の説明に「それは不公平ではないか」との疑問が保護者、市民からあります。

弁当持参は東京都の補助対象外であるからと説明されていますが、そもそも「弁当併用スクールランチ方式」は市の施策です。市が選択できることを方針としていることによって生じる不平等を放置しておいてよいとはなりません。

こうした問題を解決するためにも一日も早い全員給食実施を市が行うことを願わずにはられません。こどもの給食は子どもの権利条約第 3 条及び、基本的人権に基づく権利です。東京都のこども基本条例では、「子供を権利の主体として尊重し、子供の最善の利益を最優先にするという基本理念」を示し、具現化を進めています。東京都こども基本条例の精神を生かし、東久留米のこどもたちが平等に学校給食費の無償化が受けられるようにしてください。

日本国憲法は第 26 条第 2 項に「義務教育は、これを無償とする」と定めています。学校給食はこどもの心身の健やかな発達を保障し、食育として知識や文化を学び、人との関係や関わりを学び自分を成長させていきます。どの家庭に育つ児童・生徒であっても安心して給食を食べられるようすべてのこどもへの給食費の無償化を実施してください。

〈請願項目〉

- 1 東久留米市のすべての児童・生徒の学校給食費の無償化を実施してください。

令和 6 年 11 月 26 日

東久留米市新川町 1-1-4 中井川方
新日本婦人の会東久留米支部
支部長 永 山 房 子

東久留米市議会

議長 沢 田 孝 康 殿

小学校の給食調理室に関する空調環境の整備を求める請願

紹介議員

北村 龍太 ㊦

〈請願趣旨〉

文部科学省が示している学校給食衛生管理基準では、「調理場は、十分な換気を行い、湿度は 80%以下、温度は 25℃以下に保つことが望ましい」と明記されており、東久留米市のホームページでも衛生管理については、文部科学省から示されている「『学校給食衛生管理基準』に基づいて、適切な管理の徹底に努めています」とされています。

東久留米市の小学校給食調理室の食品庫には、エアコンが設置されましたが、給食を作る調理室には、設置されていません。調理員の皆さんは、火気を使い蒸気が立ち込める中で、大量の汗を流しながら作業されています。近年では記録的な猛暑が続き、さらに体感温度が高まり、熱中症のリスクも一層高くなるという厳しい調理室環境にあります。熱い排水の流れる溝から立ち上る蒸気や、食洗機の熱いお湯、大釜での煮炊き等の熱源に、夏場の外気の暑さが重なるという厳しい暑熱環境になっています。調理室環境を改善するためには、建て替えのほかに、排熱機能を持った調理釜や外部の空気を給気するファンの導入など検討すべき対策は幾つもあります。

学校給食衛生管理基準を適切に遵守し、また働く人の安全を確保する職場の確立、さらには、子どもたちに安全でおいしい給食を提供する環境整備のためにも、全校の給食調理室における空調環境の整備に向けた速やかな対応をお願いします。

〈請願事項〉

- 1 学校給食衛生管理基準の遵守、労働環境の改善、安全な給食の提供のために、小学校の給食調理室の空調環境を整備してください。

令和 6 年 11 月 26 日

東久留米市下里 1-3-8

東久留米子どもと教育連絡会

事務局担当 鈴木 清子

東久留米市議会

議長 沢田 孝康 殿

東久留米市立中学校において小学校のような全員給食の実現と中学校給食の提供方法について生徒、保護者、市民の意見を聞く場を設けることを求める請願

紹介議員

北 村 龍 太 ㊦

〈請願趣旨〉

国において食育基本法が施行され、令和3年3月31日に「第4次食育推進基本計画」が決定されました。近年、偏った栄養摂取、朝食の欠食など食生活の乱れや肥満・痩身傾向など、こどもたちの健康を取り巻く問題が深刻化しています。また、食を通じて地域等を理解することや、食文化の継承を図ること、自然の恵みや勤労の大切さなどを理解することも重要とされています。「第4次食育推進基本計画」は学校における食育の生きた教材となる学校給食の充実を図り、学校においても積極的に食育に取り組んでいくことが重要であるとしています。とりわけ心も体も大きく成長する中学生の時期は、栄養バランスの良い食事を必要とします。そのためには小学校のように同じ給食を食べながら、給食食材の流通を知り、食文化に目を向けながら、自分の体に必要な食事を同じ目線で考えることができるような食育を実施することが求められています。一方で歯止めのかからない物価高騰、賃金格差等により十分に食事が取れない世帯があります。家庭の経済状況に左右されず、どの生徒にも豊かな成長発達を保障し、安心しておいしい給食が食べられるようにしていくために、小学校のような全員給食を実施してください。

現在の中学校給食を実施する際に、期間を設けて小学校で調理した給食を中学生が試食し、アンケートを生徒、保護者に向けて実施しました。その後、市による現在の給食に対するアンケートを実施されているのでしょうか。東京都で選択制方式を実施している3市の一つが東久留米市ですが、その3市の中の東村山市が食缶方式の全員給食を実施することになりました。その理由として「近年、保護者の皆さまのライフスタイルの変化もあり、全員給食をご希望されるご意見が教育委員会に寄せられることが増えてきたことから全員給食への移行を検討してきました。（東村山市学校給食情報webマガジンより抜粋）」と市民に発信しています。今こそ東久留米市でも中学校給食の提供方法について生徒、保護者、市民の意見を聞く場を設けてください。

〈請願項目〉

- 1 東久留米市立中学校においても小学校と同じ全員給食を実施してください。
- 2 東久留米市立中学校給食の提供方法について生徒、保護者、市民の意見を聞く場を設けてください。

令和6年11月26日

東久留米市新川町1-1-4 中井川方
あたたかい中学校給食の実現をめざす会
事務局 玉田 麻理絵

東久留米市議会
議長 沢田 孝康 殿

国に対して、「小中学校の断熱化の早期達成目標を示し、継続的に予算を確保することを求める意見書の提出」を求める請願

紹介議員

北 村 龍 太 ㊤

かやま 玲 子 ㊤

〈請願趣旨〉

近年、地球温暖化が深刻化し、2024年も観測史上最も暑い夏となりました。子どもたちを外で遊ばせることができない、屋外プールや校庭での授業ができない、熱中症の緊急搬送が増えるなど子どもたちや市民の暮らしが脅かされています。

2018年以降、生徒の熱中症対策として、クーラー設置が進みました。しかし、クーラーが効かない教室があります。断熱がきちんとされていないためです。学校の断熱改修を早急に進めていくべきと考えます。

学校建築脱炭素研究会は、教室環境を改善するために、「学校の最上階の天井と壁に断熱材を設置し、自動運転のデマンド式換気をセットで改修した上で、窓の日射遮蔽・断熱を行うこと」が有効と提言しています。このことによって、教室が健康的な空間に変わり、エアコンの効き目が格段によくなり、冬の寒さにも有効と言われています。

都内のある自治体では、専門家の協力を得て、教室内の温度を測定し、その数値に基づいて、急遽断熱工事を実施した例もあります。

今後、ますます暑くなると科学者が指摘し「沸騰化」も必至と言われる中、自治体の財政力にかかわらず、健康で快適で、子どもたちが安心して学べるような学校づくりのために、国は学校の断熱化の早期達成目標を示し、継続して予算を確保することが必要です。

私たち東久留米子どもと教育連絡会（東久留米教育を考える会、東久留米の教科書を考える会、東久留米九条の会、くらしを守る革新東久留米の会、東久留米母親連絡会、新日本婦人の会東久留米支部）は、市議会に以下の事項を請願します。

〈請願事項〉

- 1 国に対して、「小中学校の断熱化の早期達成目標を示し、継続的に予算を確保することを求める」意見書を提出すること。

令和6年11月26日

東久留米市滝山 2-5-9-101

東久留米子どもと教育連絡会

事務局担当 岩波 洋子

東久留米市議会

議長 沢田 孝康 殿

国に対して「国の責任で、中学校の全学年での 35 人学級の早期実現を求める
意見書の提出」を求める請願

紹介議員

北 村 龍 太 ㊟

かやま 玲 子 ㊟

〈請願趣旨〉

私たちは、どの子ども健やかに成長してほしいと心から願い、少人数学級実現を求めて請願を続けてきました。

少人数学級を求める多くの保護者、市民の声、自治体の意見書採択等の動きに押され、義務標準法の改正によって小学校の 35 人学級が前進しました。しかし、中学校においては、実現されていません。

全国の小中学校で 2023 年度に不登校だった児童生徒が前年度比約 4 万 7 0 0 0 人増の 3 4 万 6 4 8 2 人で過去最多を更新したことが文部科学省の 2023 年度「問題行動・不登校調査」で分かりました。また、いじめ認知件数は、前年度から約 5 万件増え、73 万 2 5 6 8 件で過去最多でした。

東久留米市でも、教育委員会の資料によりますと、2023 年度は小中学生の不登校児童・生徒が前年度より 83 名も増え、総数 374 名になっています。教育相談件数も 2023 年度は 437 件、前年度より 185 件増加し、そのうち 7 割が不登校関連となっています。不登校の要因の主なもの、中学校の場合、生活リズム、無気力、学業不振となっています。市も都や国と連携して居場所づくりをはじめ様々な支援体制を取っていますが、不登校児童・生徒から多く聞かれる声は、やはり、学校での人間関係や授業のことなど「学校」のことが多いそうです。

学校は本来子どもが安心して学べる居場所であるべきです。そのためには、何よりも教職員を増やし、一人一人の子どもたちの声を聞き、心が通い合う環境をつくる必要があります、少人数学級を進めることは喫緊の課題です。

公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律案に対する附帯決議には、「一 全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するとともに、全ての子どもたちの教育的ニーズに応じたきめ細かな指導体制と安全・安心な教育環境を整備するため、政府は、少人数学級の効果検証結果等を踏まえ、中学校三十五人学級の検討を含め学校の望ましい指導体制の構築に努めること。」「政府及び関係者は、本法の施行に当たっては、特段の配慮をすべきである。」とあります。

附帯決議に示された内容を早期に検討し、中学校の 35 人学級を進めることを強く要望します。

私たち東久留米子どもと教育連絡会（東久留米教育を考える会、東久留米の教科書を考える会、東久留米九条の会、くらしを守る革新東久留米の会、東久留米母親連絡会、新日本婦人の会東久留米支部）は 6 団体の一致した見解として以下について請願します。

〈請願事項〉

- 1 国に対して「国の責任で、中学校の全学年での35人学級の早期実現を求める意見書」を提出すること。

令和6年11月26日

東久留米市滝山3-1-4-304

東久留米子どもと教育連絡会

事務局担当 塚田 恵子

東久留米市議会

議長 沢田 孝康 殿

総務文教委員会審査報告書

付託された請願につき、令和6年12月11日開会の本委員会において審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第102条第1項の規定により報告いたします。

令和6年12月11日

総務文教委員長 梶井 琢 太



東久留米市議会
議長 沢田 孝 康 殿

記

件名	6請願第25号 東久留米市のすべての児童・生徒の学校給食費の無償化を求める請願
結果	不採択とすべきもの
少数意見	なし
主たる質疑	1. 本市の学校給食費の無償化の制度に関して、①概要、②申請時期、③対象者の範囲、④対象者数、⑤不登校の児童・生徒への対応、⑥アレルギー対応業務に当たる職員及び関係者の負担、⑦保護者への説明会
要望、意見等	<p>1. 本市において学校給食費の無償化が実現したことは、大きな前進である。一方で不登校の児童・生徒等や中学校で食物アレルギーの理由以外で自主的に弁当を持参している生徒は、対象外となっている。子供の権利を尊重し、最善の利益を確保するという観点から、全ての児童・生徒について学校給食費を無償化するべきである。よって、本請願は採択すべき。</p> <p>2. 給食を利用しない児童・生徒の個別の状況を全て把握し、完全に公平に対応することは、具体的な方法、費用及び基準に課題がある。保護者が負担すべき給食の経費を無償化する考え方からすれば、学校に出来ない等で制度を利用しない児童・生徒への現金給付は別の課題であると認識する。市は、十分に学校給食の無償化を行っていると考えているので、本請願には、反対する。よって、本請願は不採択とすべき。</p> <p>3. 不登校の生徒も保健室に行けば、給食が食べられるとのことであるが、そもそも登校ができないから不登校となっているわけで、不登校の児童・生徒にも給食費の無償化の享受を検討してもらいたい。よって、本請願は採択すべき。</p> <p>4. 中学校で家から持参する弁当は、学校給食ではない。また、不登校の児童・生徒は学校給食を食べていないので、無償化はできない。不登校の児童・生徒に給食費の相当分の金額を補助することは、福祉面から別の問題と考えるため、本請願には、反対する。よって、本請願は不採択とすべき。</p>
措置	—

件名	6請願第26号 国に対して「選択的夫婦別姓制度をただちに導入することを求める意見書の提出」を求める請願
結果	採択すべきもの
少数意見	なし
主たる質疑	なし
要望、意見等	<p>1. 現在、国会など様々な場において合意形成のための建設的な議論が行われており、市においても様々な御意見の方がいらっしゃることも事実である。このような中、今、市が意見書を提出することには慎重であるべきと考え、国の議論の方向性も見定めながら、引き続き本市での議論も必要と考える。よって、本請願は、継続審査とすべき。</p> <p>2. 本請願は、選択的夫婦別姓を直ちに導入することを求めているが、国民の理解の下に進められるべきものであり、国民の間で意見が一致していない現状においては、市議会として意見書を出すことには反対をする。よって、本請願は継続審査でなく不採択とすべき。</p> <p>3. 家族の在り方は多様化し、夫婦、家族の形は様々である。個人の選択に寛容な社会をつくっていくことが急務である。地方議会でもこの問題に関する意見書が多数可決されている。速やかな実現を求める立場からもこの請願を採択し、意見書を提出するべきと考える。よって、本請願は継続審査でなく採択すべき。</p> <p>4. 今、現実に夫婦別姓による弊害に苦しんでいる方が存在していることを考え、選択的な夫婦別姓を導入すべきと考えている。その上で、家族の一体化や戸籍の一体性との両立に鑑みて、戸籍に旧姓を記して法的効力を付与する。以上のことから本請願には賛成する。よって、本請願は継続審査でなく採択すべき。</p> <p>5. 夫婦別姓のメリットとして、改姓手続の負担が軽減され、キャリア形成への影響が抑えられる、結婚・離婚を周囲に知られにくいという実際上の面もあるが、ジェンダー平等の観点から見て、不公平や格差をなくしていかなければならないと考える。以上の理由により、本請願に賛成する。よって、本請願は継続審査でなく採択すべき。</p>
措置	意見書を提出すべきもの

件名	6請願第27号 小学校の給食調理室に関する空調環境の整備を求める請願
結果	不採択とすべきもの
少数意見	なし
主たる質疑	1. 給食調理室に関して、①来年度の予算における暑熱対策の検討の有無、②回転釜
要望、意見等	<p>1. 近年の異常な夏の暑さに対して、給食調理室で働くことは困難な状況になっている。学校施設の建て替えを待っているのは、暑い状態が何十年も続くことになってしまう。市としての給食調理室の暑さ対策を進めていくことを求める。よって、本請願は採択すべき。</p> <p>2. 市では、可動式スポットクーラーの設置やネッククーラー等の暑熱用品を提供する等給食調理員の労働環境改善を図ってきた。今年度は、給食調理室内の区画化された場所にエアコンを設置するなど暑熱対策を進めており、請願で求めている空調環境の整備について、限定的ではあるが既に進めていると考える。よって、本請願は不採択とすべき。</p>
措置	——

件名	6請願第28号 東久留米市立中学校において小学校のような全員給食の実現と中学校給食の提供方法について生徒、保護者、市民の意見を聞く場を設けることを求める請願
結果	不採択とすべきもの
少数意見	なし
主たる質疑	1. 学校給食そのものについて生徒の意見を聞くことについて 2. 喫食数の増加への対応について 3. 保護者からの中学校給食への意見について
要望、意見等	1. 現在の弁当併用スクールランチ方式は、市民からの要望を踏まえて、議論を重ね、調査・研究・検討を経て採用している。給食を食べるのは生徒であり、今後の制度の在り方ではなく、引き続きランチの内容等について生徒の声を聞く取組をお願いしたい。よって、本請願は不採択とすべき。 2. 中学校給食について、温かい献立のテスト実施のアンケートがなされ、様々な意見が寄せられている。こうした生徒一人一人の声を聞き、給食の在り方について検討をする場が必要であると考え。よって、本請願は採択すべき。 3. 学校側も作っている業者も生徒たちがおいしく安全に食べるということを想像しながら、給食に携わっているものと思う。そうして作られ、提供される給食について、生徒たちと意見交換をすることは、新たな気づきもあると思われ、生徒たちにも提供者側にもメリットがあると考え。よって、本請願は採択すべき。
措置	——

件名	6請願第29号 国に対して、「小中学校の断熱化の早期達成目標を示し、継続的に予算を確保することを求める意見書の提出」を求める請願
結果	不採択とすべきもの
少数意見	なし
主たる質疑	なし
要望、意見等	1. 国は、環境を考慮した学校施設作り事例集において、建物の断熱・気密性能の向上や、必要な換気を行うとともに、適切な空調運転管理が大切であるとしている。しかし、現在の学校施設における壁や開口部の断熱気密化の具体的な手法と効果については、より一層調査研究が必要であり、現状では早期達成目標を示し、継続的に予算確保を図ることは、時期尚早と考える。よって、本請願は不採択とすべき。 2. 現在の公共施設マネジメントの予定では、学校施設の建て替えの際に断熱化を行うと、何十年にもわたって断熱化されない学校が出てくる。建て替えを実施する前に断熱化を実施すべきで、国による財政支援措置が必要である。国の責任で小・中学校の断熱化を推進し、予算の確保を求めるべきと考える。よって、本請願は採択すべき。 3. 断熱化は、大規模改修、建て替えや新築などそういった際に行わざるを得ないと考える。それは、自治体の状況で異なってくると思う。断熱化については、一律に国がスケジュールを決めて行うことを求めるものではないと考え、本請願には反対する。よって、本請願は不採択とすべき。 4. 請願趣旨に断熱化がきちんとされていないため、クーラーが効かない教室があると記載されている。クーラーをフル稼働しても温度が下がらないなら、適切な断熱改修を施すべきだが、費用面において本市単独で行うことは難しい。子どもたちが安全に教室で学べるよう、国に対して継続的に予算の確保を求めるべきである。よって、本請願は採択すべき。
措置	——

件名	6 請願第 30 号 国に対して「国の責任で、中学校の全学年での 35 人学級の早期実現を求める意見書の提出」を求める請願
結果	不採択とすべきもの
少数意見	なし
主たる質疑	なし
要望、意見等	<p>1. 35 人学級実現のためには教員の確保と教室の整備が必要であり、早期に実現することは困難である。まずは、法や閣議決定に基づく実証研究が文部科学省において行われている状況に鑑み、35 人学級の実証研究の結果を待つべきと考える。よって、本請願は不採択とすべき。</p> <p>2. 請願趣旨にあるとおり、不登校の増加は深刻である。今、学校では先生方が授業の準備や様々な業務に追われ、それ以外に使用できる時間が減らされ、学級人数が多ければ多いほど子どもに向き合う時間がなくなり、変化に気づけないことが増えている。少人数学級を実施することで不登校の兆候を見逃さない環境にしていくことが望ましいと考える。よって、本請願は採択すべき。</p> <p>3. 学級人数が多いことは、教員の負担増に繋がる。教員の業務は幅広く、その中できめ細やかに子どもたちの育ちに応じた対応をするには学級人数が少ないことが望ましい。しかし、本市において、限られた財源の中で教職員を増やし、35 人学級を実現することは厳しいため、国に対して、国の責任で中学校の全学年で 35 人学級の早期実現を求めるべきと考える。よって、本請願は採択すべき。</p>
措置	——

12/25 追加資料

教育長報告①関連

教育委員会資料

令和6年12月25日

教 育 部

令和6年第4回市議会定例会提出追加議案

議案 番号	件 名	付 託 委員会
87	令和6年度東久留米市一般会計補正予算（第13号）	

東久留米市第3次特別支援教育推進計画（素案）に対する パブリックコメントの募集結果

1 パブリックコメントの概要

- (1) 募集期間 令和6年12月2日（月）から令和6年12月23日（月）まで
- (2) 周知方法 「広報ひがしくるめ（12月1日号）」、市ホームページ
- (3) 閲覧場所 市政情報コーナー（市役所1階）、指導室（同6階）、
中央・滝山・ひばりが丘・東部の各図書館、市ホームページ
- (4) 提出方法 郵送、ファックス、電子メール、指導室窓口
- (5) 提出者数 2名
- (6) 意見総数 9件（うち、不登校に関する意見2件、教員の就労環境に関する1件）

2 ご意見の概要と教育委員会の考え方

※ 長文のご意見は、趣旨を損なわないよう要約しています。

No	項目	ご意見の概要	ご意見に対する教育委員会の考え方
1	P. 9～ 第3章 児童・生徒及び保護者アンケート結果	特別支援学級・教室・通級ともに肯定的な意見が多く、満足度が高い評価結果である。少人数で手厚い指導・教育がなされている成果であり、教員の努力に敬意を表する。	アンケート結果はもとより、市民の皆様のご意見は教員の励みになります。今後も特別支援学級・教室・通級に在籍する児童・生徒及び保護者に寄り添い、教育の充実に努めてまいります。
2	P. 11 第3章 児童・生徒及び保護者アンケート結果 問4 この学級において ねがいたいこと	特別支援教室及び通級指導学級アンケートにおいて、「かよえる時間をふやしてほしい」と回答した児童・生徒の割合が高い。適正な時間を保障してほしい。	通級による指導の授業時数については、障害の状態に応じて適切な指導及び必要な支援を行う観点から、年間35単位時間から280単位時間まで、学習障及び注意欠陥多動性障害については年間10単位時間から280単位時間までと定められています。そのため、特別支援教室又は通級指導学級の利用に当たっては、当該児童・生徒の特性に基づき、保護者と相談した上で、校長が指導方針等を決定しています。今後も保護者との合意形成を図り、適正な指導時

			間を確保してまいります。
3	P. 16・19・22 教育委員会に期待すること	障害等をもつ子どもたちの保護者は、日常生活の中でも悩み等が多い。「相談体制の充実」や「切れ目のない支援」の充実を求める。	教育相談室では、発達や障害にかかわる相談のほか、不登校、いじめ及び子育ての悩みなど児童・生徒の学校や家庭生活を巡る様々な相談に応じています。今後も、幼児期からの切れ目のない相談支援を推進するとともに、入学後も学校と保護者が密に連携し、関係機関とつながるなど、総合的・専門的な相談体制の充実を図ってまいります。
4	P. 19 教育委員会に期待すること	在籍者数が増加していることから、自閉症・情緒障害特別支援学級の設置数や教員数等を充実させてほしい。	自閉症・情緒障害特別支援学級の在籍児童数については、増加傾向にあると認識しています。そのため、小・中学校における自閉症・情緒障害特別支援学級の体制の改善を検討してまいります。なお、教員数については、東京都の規準に準じて、今後も最大数を配置してまいります。
5	P. 35 推進プラン3 交流及び共同学習の推進 (3)都立特別支援学校との副籍交流	特別支援学校宛てに案内文を出すなどして、特別支援学校に通う子どもが居住する地域の市立学校の行事等にもっと気軽に参加できるようにしてほしい。	副籍交流の趣旨は、特別支援学校に通う児童・生徒が、居住する地域の区市町村立学校に副次的な籍をもち、直接的又は間接的な交流を通じて、地域とのつながりの維持・継続を図ることです。いただいたご意見は、その趣旨に沿ったものですので、今後も、形式にこだわらず、学校行事や体験的な活動を共に行うなど、個に応じた副籍交流の充実に向けてまいります。
6	P. 35 推進プラン4 多様な教育的ニーズのある児童・生徒への指導力の向上	特別支援教育に携わる教員の専門性を高めるとともに、教室環境についても現場の状況を踏まえて改善してほしい。	児童・生徒の実態に応じて、より適切な指導・支援を行うため、学校全体の教室環境を定期的に見直し、整備に努めます。また、巡回指導教員の連絡会や研修会を行い、教員の指導力向上に努めてまいります。

第四次東久留米市子ども読書活動推進計画（素案）に対する パブリックコメントの募集結果

1 パブリックコメントの概要

- (1) 募集期間 令和6年12月2日（月）から令和6年12月23日（月）まで
 (2) 周知方法 「広報ひがしくるめ（12月1日号）」、市ホームページ
 (3) 閲覧場所 市政情報コーナー（市役所1階）、中央図書館（2階事務室）、
中央・滝山・ひばりが丘・東部の各図書館、市ホームページ
 (4) 提出方法 郵送、ファックス、電子メール、中央図書館2階事務室窓口
 (5) 提出者数 1名
 (6) 意見総数 2件

2 ご意見の概要と教育委員会の考え方

※ 長文のご意見は、趣旨を損なわないよう要約しています。

No	項目	ご意見の概要	ご意見に対する教育委員会の考え方
1	P. 11 1. 発達段階ごとの効果的な読書活動の推進	<p>物語や昔話は、人間の成長や人生にかけがえのない力を与えてくれます。幼児期から小学生時代におはなしを聞く経験や想像をはたかせる読書体験は、人生をより深く生きる力とつながることを、計画の基本方針や取り組みの「発達段階ごとの読書活動」の項にしっかり位置付けていただきたいと思えます。</p> <p>素案にある、学力の基盤としての読書、情報化時代の基礎学力としての図書館や資料の活用を捉えた読書推進方策は理解した上で、読書のもっと根幹にある、昔話・物語の役割も、掲げていただきたいと考えます。</p>	<p>本計画においても、子どもの言葉の発達や想像力、感性を豊かにする上で、読書を「楽しむ」ことは大切であると位置付けています。「1. 発達段階ごとの効果的な読書活動の推進」については、物語や昔話の役割も踏まえた上で、各発達段階ごとに重要とされる読書体験を支えていきます。</p>
2	P. 13 2. 「読むこと 読書のたのしみ」を社会全体で	<p>「読むこと、読書の楽しみを社会全体で」の項目で、担い手の育成を図る必要を言っているので、「(2) 図書館、地域における読書を推進する取り組み」の中に、ストーリーテリングや子ども読書活動の担い手の育成を明記してほしいと思います。また、市民や民間参加で活動を進める計画であれば、その進</p>	<p>第四次東久留米市子ども読書活動推進計画では、子どもの読書推進に関わる各部署の具体的施策の立案に当たっての指針となることに力点を置き、具体例ではなく、4つの基本方針に沿った具体的な取り組みを方向性ととも記載しています。</p> <p>ご意見については、本計画における</p>

		行役としての公の役割も示していただきたいと思います。	「子ども読書応援団の運用」「地域の子ども読書活動推進団体との連携」に包括されるものと考えます。また、図書館協議会からの意見も踏まえながら取り組んでいきます。
--	--	----------------------------	--



くるめ産給食の日

実施日： 令和7年2月18日（火） 各校給食時

実施校： 市内全小中学校（約8,000食）



趣旨： 東久留米市産農産物の多様性を知り、味わい、そして郷土愛を育むイベント給食として、本年度も「くるめ産給食の日」を実施します。

給食の献立は、各々の小学校や中学校で普段は別々になっていますが、この日は小学校全校で統一の献立とし、小・中学校全校で柳久保小麦や東久留米市産の野菜をふんだんに取り入れた献立として、市全体の一体感を創出します。また、地場産の野菜はさまざまな料理に展開可能な力を持っていることを、子供たちや保護者に示してまいります。

小学校では3品統一の共通メニューとします。中学校ではランチボックス方式かつ必要栄養量が異なるため、全5品での構成とします。

献立： 【小学校】（令和6年度予定）

- ・くるめピラフ(東久留米市産野菜を使用)
- ・地粉シチュー
- ・旬野菜のサラダ（東久留米市産野菜を使用）
- ・牛乳

【中学校】（令和6年度予定）

- ・ご飯
- ・A 地粉シチュー B 揚げいか カレーソース
- ・旬野菜サラダ（東久留米市産野菜を使用）
- ・じゃこピーマン
- ・アロエフルーツ
- ・牛乳



スポーツ健康ウィーク東久留米 2024 報告書

目 的	<p>・令和3年10月のスポーツ健康都市宣言を踏まえ、宣言を行った10月1日からスポーツの日までの期間を中心に、市民のスポーツ及び健康に対する機運を高めることを目的とする。</p> <p>[スポーツ健康都市宣言文] 水と緑に恵まれたこのまちに暮らす私たちは、彩り豊かな食生活と質の良い睡眠を心がけ、スポーツという言葉を超えたコミュニケーションに親しみ、楽しむことで、だれもが健康で活力に満ちた地域の実現をめざします。 スポーツにふれて 自分らしい楽しみや喜びを見つけよう 笑顔になって、健やかな心と体をつくろう 仲間とつながり、交流の輪をひろげよう</p>
実施内容	<p>・期間中、関係各課、各指定管理者(各種事業者)などのスポーツ及び健康に関する一連の事業をとりまとめ、広報及びホームページでの周知、ポスター、リーフレットを作成し、市内各所に掲示・配布した。</p> <p>・特別事業として10月20日(日)に市スポーツセンターにて「牧野紘子選手・松本信歩選手と泳ぐ水泳教室」を実施(スポーツセンター指定管理者による実施)した。</p>
期 間	10/1(火)~10/14(月・祝)、10/20(日)、10/26(土)
実施事業	別紙のとおり
主 催	東久留米市教育委員会
協 力	東京ドームスポーツセンター東久留米、NPO 法人東久留米市体育協会
決 算	<p>予算 300,000 円 決算額 241,560 円 予算残額 58,440 円 (内訳) ・スポーツ健康ウィーク東久留米リーフレット等作成委託 241,560 円</p>
広 報	<p>① 広報ひがしくるめ(9月1日号)にイベント全体と「主なイベント」の紹介 ② 8月29日に市ホームページに特設ページを開設 ③ ポスター、リーフレットを作成し、カーブのぼり、ミニのぼりと共に掲示・配布 ④ 10月1日スポーツ健康ウィーク東久留米についてのプレスリリース発出 ⑤ X(旧 Twitter)および Facebook並びにLINEでイベント全体の紹介を行った。</p>

イベント実施スケジュール

イベント			
①	東久留米てくてくさんぽ	生涯学習センター	10月1日(火)
②	わくわくすこやか体操 (中央町地区センター)	介護福祉課 福祉総務課	10月2日(水)、3日(木)、4日(金)、 5日(土)、7日(月)、9日(水)、10日(木)
	わくわくすこやか体操 (南町地区センター)	介護福祉課 福祉総務課	10月2日(水)、9日(水)
	わくわくすこやか体操 (野火止地区センター)	介護福祉課 福祉総務課	10月7日(月)
③	わくわくすこやか体操 (西部地域センター(滝山 地区センター))	介護福祉課 福祉総務課	10月2日(水)、9日(水)
④	シニアクラブほか 身体を動かすサークル 活動体験会 (5 地区センター)	介護福祉課 福祉総務課	1. 八幡町地区センター 10月7日(月)10:00~12:00 2. 野火止地区センター 10月3日(木)、10日(木)10:00~12:00 3. 浅間町地区センター 10月2日(水)、9日(水)13:00~15:00 4. 南町地区センター 10月2日(水)、9日(水)9:30~11:30 10月4日(金)13:30~15:30 5. 中央町地区センター 10月4日(金)10:00~12:00
⑤	幼児のつどい 運動会	児童青少年課	10月3日(木)
⑥	若さを保つ! 元気食教室 ~低栄養予防のために~	介護福祉課	10月4日(金)
⑦	わくわくすこやか体操 呼びかけ隊	介護福祉課	10月4日(金)、10月11日(金)
⑧	ラジオ体操講習会	生涯学習課	10月4日(金)
⑨	第4回ボッチャくるめ カップ	生涯学習課	10月5日(土)
⑩	歩き方教室	健康課	10月11日(金)
⑪	ニュースポーツデー	生涯学習課	10月12日(土)
⑫	第39回ファミリー スポーツフェスティバル	NPO 法人東久留 米市体育協会	10月14日(月・祝)
⑬	牧野紘子選手・松本信歩 選手と泳ぐ水泳教室	スポーツセンター 指定管理者	10月20日(日)
⑭	たまろくと クリーンウォーキング	生涯学習課	10月26日(日)

パネル展示・リーフレット配布等			
⑮	スポーツ健康ウィーク 東久留米パネル2024展	生涯学習センター ロビー	10月1日(火)～10月14日(月・祝)
⑯	スポーツ健康ウィーク 東久留米2024展示	中央図書館 滝山図書館 ひばりが丘図書館 東部図書館	10月1日(火)～10月14日(月・祝)
⑰	「保育園おすすめレシピ」 リーフレット配布	各公立保育園及び 子育て支援課窓口	10月1日(火)～無くなり次第終了
⑱	スポーツ及び健康関連 食育事業	各公立小中学校 (学務課)	10月1日(火)～10月11日(金)の いずれか1日

実施事業

【イベント】

① 東久留米てくてくさんぽ（生涯学習センター指定管理者）

日程:10月1日(火) 9:30～12:00

場所:南沢湧水群及び周辺

申込者数:20名 参加者数:18名

のんびり地域を散策し地域の良さと自身の健康を再発見する講座。多聞寺内の市指定旧跡 共立学校跡～落合川いこいの水辺～南沢湧水群～南沢氷川神社～笠懸の松(伊勢物語に出てくる在原業平が休息したと言われる松。笠松坂付近に所在したと伝わるもの)のルートを散策。

参加者はかつて住んでいた地域が同じであったりと偶然も重なり、地域の情報交換もしながら和気あいあいの雰囲気で行進。参加者からは「途中、木の実を踏んで音を出しながら歩いたりして、童心に戻れて楽しかった」、「1か月前に練馬から引っ越して来たばかりでどんなところか知りたくて参加してみた。地域のことをもっと知りたい」といった声が寄せられた。

スポーツ健康ウィークパネル展にて活動写真の展示を行った。



② わくわくすこやか体操（福祉総務課）中央町・南町地区センター

日程:10月2日(水)・3日(木)・4日(金)・5日(土)・7日(月)・9日(水)・10日(木)

参加者数:中央町地区センター 1名(10月5日(土)) 南町地区センター 2名(10月2日(水))

当市のご当地体操である「わくわくすこやか体操」を体験できるイベントを中央町地区センター及び南町地区センターで開催した。

③ わくわくすこやか体操（福祉総務課）西部地域センター（滝山地区センター）

日程:10月2日(水)・9日(水)

参加者数:45名

【内訳】

実施日	10月2日	10月9日
滝山地区センター	24名	21名

④ 身体を動かすサークル活動体験会 各地区センター（福祉総務課）

日程:10月2日(水)・3日(木)・4日(金)・7日(月)・9日(水)・10日(木)

場所:5地区センター(八幡町・野火止・浅間町・南町・中央町)

シニアクラブ連合会などの協力で、各地区センターで様々な身体を動かす活動を体験できるイベントを開催した。競技は、スカットボール、体操、自彊術、ポピー体操、輪投げの5種類。

【内訳】

実施日	10月2日		10月3日	10月4日		10月7日	10月9日		10月10日
地区センター	浅間町	南町	野火止	南町	八幡町	浅間町	中央町	南町	野火止
種目	健康体操	自彊術	シルバー体操 レクダンス	自彊術	スカット ボール	健康体操	輪投げ	自彊術	シルバー体操 レクダンス
参加人数	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

⑤ 幼児のつどい運動会（児童青少年課）

日程:10月3日(木)

開場:10:00

開演:10:30~11:20(休憩なし)

場所:東京ドームスポーツセンター東久留米
第1体育館

対象:未就園児(保護者同伴)

参加者数:57組 127名

中央児童館 16組 35名

けやき児童館 21組 44名

子どもセンターあおぞら 13組 32名

子どもセンターひばり 7組 16名



⑥ 若さを保つ元気食教室（介護福祉課）

日程:10月4日(金)

場所:市民プラザホール

参加者数:9名

管理栄養士が、体力や抵抗力をつける食事や簡単で栄養のある料理方法について、講義を行った。



⑦ わくわくすこやか体操呼びかけ隊（介護福祉課）

日程:10月4日(金)・10月11日(金) 14:00~15:30

場所:市民プラザホール

参加者数:4日→15名 11日→13名

東久留米市リハビリテーション協議会理学療法士の指導のもと、「わくわくすこやか体操を覚えたい」と思っている方を対象に教室を開催した。



⑧ ラジオ体操講習会（生涯学習課）

日程:10月4日(金) 13:30~15:00

場所:東京ドームスポーツセンター東久留米 第1体育室

参加者数:83名

一般財団法人簡易保険加入者協会の「健康タウン構想」の推進支援自治体への講師派遣を利用して、NHK テレビ・ラジオ体操指導者の鈴木大輔さんと、NHK テレビ・ラジオ体操アシスタントの杉井勇介さんをお迎えして、「ラジオ体操講習会」を開催した。



⑨ 第4回 ボッチャくるめカップ（生涯学習課・スポーツ推進委員会）

日程:10月5日(土) 13:00~16:00

場所:東京ドームスポーツセンター東久留米 第1体育館

参加者数:18グループ 68名

障がいの有無を問わず誰もが楽しめる「ボッチャ」の魅力を伝えると同時に、市民の交流を深め、健康増進を目的とし行った。



⑩ 歩き方教室（健康課）

日程:10月11日(金) 10:00~11:30

場所:都立六仙公園

申込者数:20名

参加者数:14名(男性5名、女性9名) ※50代1名、60代4名、70代5名、80代4名参加

10月中旬にも関わらず、軽く動くだけでも汗ばむ気候でしたが、晴れて気持ちよくウォーキングができた。歩き方について、個別指導を受ける時間を設けていた為、講師に質問をしている方が多くみられた。

参加者からは、「正しい歩き方を教えてもらえてよかった。今後の生活に取り入れたい」「歩くことを意識せず、歩数ばかりを気にしていたのでよい勉強になった」や、「肘をしっかりとひくことが大切だとわかった。これからのウォーキングにいかしたい」など様々な感想をいただいた。



⑪ ニュースポーツデー（生涯学習課・スポーツ推進委員会）

日程:10月12日(土) 10:00~16:00

場所:東京ドームスポーツセンター東久留米 第1体育室

参加者数:59名

ラージボール卓球、ポッチャ、ユニカール、ミニテニス、ソフトバレーボール、スカットボール、モルック、ミニサッカーやパラコーナーを実施した。

また、体力測定コーナーという形で、立ち幅跳び・反復横跳び・長座体前屈・握力測定の設置を行った。

⑫ 第39回ファミリースポーツフェスティバル（NPO 法人東久留米市体育協会）

日程:10月14日(月・祝) 10:00~15:30

場所:東京ドームスポーツセンター東久留米 体力テストのみ大門中学校

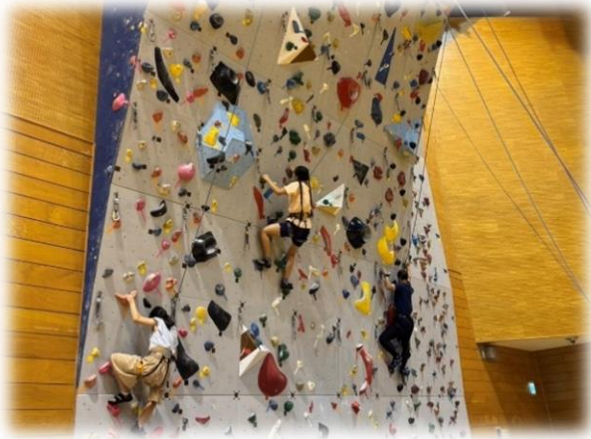
参加者総数:870名

昨年4年ぶりに開催から2年連続で今年も開催。スポーツセンターでは、以下の種目が開催された。

【スポーツセンターで開催の種目】

会場	種目	会場	種目
第1体育室	ストラックアウト	第3体育室	ラージボール卓球
	ユニカール	プール	自由遊泳・ゲーム
	ソフトバレーボール	トレーニングルーム	ジム・トレーニング
	スカットボール	弓道場	午前:アーチェリー体験
	フレスコボール		午後:和弓体験
	クライミング	体育協会事務所前	スカットボール
	ハンドボール交流戦(エキシビジョン)	第1武道場	ドッジボール
	救急法		

第2 体育室	親子運動あそび	第2武道場	ボッチャ
	ハイブリッドボクシング※事前予約制		昔ながらの遊び(けん玉、お手玉、おはじき等)



⑬ 牧野紘子選手・松本信歩選手と泳ぐ水泳教室
(スポーツセンター指定管理者)

日程:10月20日(日) 13:30~15:30

場所:東京ドームスポーツセンター東久留米 2階プール

申込者数:52名

参加者数:46名

パリ2024オリンピック大会をはじめ国際大会へ出場するなど国内外で活躍している、競泳の牧野紘子選手と松本信歩選手をお迎えして、水泳教室実施。

10月20日(日)
13:30-15:30
東京ドームスポーツセンター東久留米 2階プール

9月21日(土)
10:00
申込開始

★対象・定員
小学生~中学生 / 成人(16歳以上) 各30名
※クローリング25M以上泳げる方

★申込方法
窓口にて申込(TEL申込可:042-470-7900)

★参加費無料イベント

牧野 紘子 (まきの ひろこ)
①国際大会出場歴
●2017 世界選手権
●2019 世界選手権
●2024 パリオリンピック
50M自由形銅メダル
4x50Mフリーリレー(3位)

松本 信歩 (まつもと しほ)
①国際大会出場歴
●2019 世界ジュニア水泳選手権大会
●2021 FISU ワールドユニバーシティゲームズ
●2024 パリオリンピック
200M個人メドレー(14位)

2024年 国際大会出場者
水泳
と泳ぐ**教室**

⑭ たまろくとクリーンウォーキング（多摩北部都市広域行政圏協議会）

日程:10月26日(土) 9:30~12:00

場所:東久留米駅(西口・東口)→西口中央公園

参加者数:13名

東久留米駅の西口と東口の2つの出発地点に分かれて、西口中央公園を目指してゴミ拾いしながらウォーキングするイベント。13名(各市従事職員を含めると23名)が参加した。

ウォーキング中にまちで見つけたものや、拾ったゴミと同じものをチェックする「まち歩き・ごみ拾いビンゴカード」などのゲームを通して、イベントにゲーム性を持たせて開催された。

また、同時刻にFMラジオ局「TOKYO854 くるめら」にて「たまろくとクリーンウォーキング LIVE ラジオ」を放送し、事業概要や参加者のインタビュー、協議会や圏域各市のイベント情報の周知などを行った。



【パネル展示・リーフレット配布等】

⑮ スポーツ健康ウィーク東久留米 2024 パネル展(食を通じた健康づくり)

日程:10月1日(火)~10月14日(月・祝)

場所:生涯学習センター 来場者:800名

市の「スポーツ健康ウィーク東久留米」個別事業として、市健康増進計画の目標である「健康寿命を延伸」に繋がる7つの健康分野別取組のうち「食事」をピックアップし、「食を通じた健康づくり」をテーマにした情報提供型パネル展を行った。

【各課提供資料】

健康課:世界骨粗鬆症デー告知/栄養バランス/東久留米の野菜を使ったレシピ集

生活文化課:エシカル消費啓発資料と促進グッズ

産業政策課:農さんぽマップ(市内85箇所の直売所紹介)

保険年金課:国民健康保険アプリ kencom の資料

防災キャラバン:まろにえ祭りの再掲「地場産野菜で防災レシピ」を掲載



⑩ スポーツ健康ウィーク東久留米 2024 展示（図書館）

日程:10月1日(火)～10月14日(月)

市内の図書館 4 館でスポーツ及び健康に関するテーマを各館で設定し、資料の展示を行った。スポーツについては、五輪で注目を集めたアーバンスポーツに焦点を当て、幅広い世代に関心を持っていただける資料を展示した。

一方、健康については食生活や軽い運動など、生活に取り入れられる健康をテーマにした展示を行い、シニア世代を中心に多く興味を持っていただくことができた。

〈中央図書館〉

テーマ:筋肉を鍛えて、心身ともに健康に！

○展示期間中の貸出点数:86冊 ○合計展示数115冊

〈滝山図書館〉

テーマ:スポーツ ～ニュースポーツ・アーバンスポーツ～

○展示期間中の貸出点数:3冊 ○合計展示数15冊

〈ひばりが丘図書館〉

テーマ:健康 ～健康寿命を延ばそう～

○展示期間中の貸出点数:60冊 ○合計展示数75冊

〈東部図書館〉

テーマ:栄養 ～食生活を見直す～

○展示期間中の貸出点数:17冊 ○合計展示数39冊



〈中央図書館〉



〈滝山図書館〉



〈ひばりが丘図書館〉



〈東部図書館〉

⑰ 「保育園おすすめレシピ」リーフレットの配布（子育て支援課）

10月1日(火)～無くなり次第終了

場所:各公立保育園、子育て支援課窓口

配布枚数:1,255 枚

公立保育園の子ども達が食べているメニューの中から、地場産の野菜を使用し、減塩にもなる、大人にとっても健康的なメニューを紹介するリーフレットを配布した。

⑱ スポーツ及び健康関連食育事業(学務課)

10月1日(火)～10月11日(金)の期間中、いずれかの日程で市内の各公立学校にてスポーツや健康にちなんで、疲労回復に効果のあるレモンドレッシングサラダなどのメニューを一部小学校の給食・スクールランチで提供し、全校の給食だよりや当日の献立紹介紙などで、健康づくりやスポーツで効果を発揮するのに効果的な食事などについて紹介した。

学校名	提供日
第二小学校	10月1日(火)
第五小学校	10月3日(木)
第七小学校	10月11日(金)
第九小学校	10月10日(木)
第十小学校	10月11日(金)
小山小学校	10月9日(水)
神宝小学校	10月8日(火)
本村小学校	10月3日(木)
中学校(スクールランチ)	10月11日(金)

【リーフレット・ポスター】

(リーフレット)

スポーツ健康ウィーク東久留米2024

10月4日(日) ラジオ体操練習会 午後1時～午後3時

10月1日(火)～14日(日) を中心に、様々なイベントを開催します!

(ポスター)

スポーツ健康ウィーク東久留米2024

10月1日(火)～14日(日)を中心に、様々なイベントを開催します!

主なイベント

- 10月4日(日) ラジオ体操練習会
- 10月12日(土) ニュースポーツデー
- 10月14日(日) 第39回ファミリースポーツフェスティバル

イベントスケジュール

10月12日(土) ニュースポーツデー

10月14日(日) 第39回ファミリースポーツフェスティバル